

校章 準備委員会審査

1				
デザイン				
説明	<p>太田小学校と同地区の「古代蓮の里」にある「行田蓮」をモチーフとしました。1400～3000年前のその姿を現代に蘇らせる生命力に満ちた行田蓮のごとく「児童たちよ、たくましく健やかに花ひらけ！」という願いを込めました。また、七つの虹色は、さまざまな個性を持った児童たちを表現し、尊重する姿勢を表しています。</p> <p>上部には、もともと太田東小・太田西小の校章に共通で描かれている「桜」を継承することで、先人を敬い、両校の一体感と伝統を表しています。</p>			
(参考)白黒・縮小	<p>グレースケール</p> 	<p>縁取り</p> 	<p>応募者提案</p> 	<p>縮小</p> 

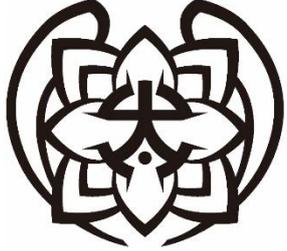
※校章は白黒で使用する場合が多いため、グレースケール、縁取りを参考に掲載しています。これらは校章の使用場面（白黒の印刷物や校旗（刺繍）など）によって使い分けます。なお、応募者からの白黒版の提案があったものについては、「応募者提案」と記載しています。

校章 準備委員会審査

2				
デザイン	<p>太田小学区の「黄金の稲穂」「桜の花」を基調に遙かに望む富士山と共に未来に花咲き、実る、太田小学校を表現しました。</p> <p>ピンクは花、緑は大地と青葉、黄は光と実り、水色は清流、赤は太陽で、豊かな自然の中で学習環境に恵まれた太田小学校をイメージしました。</p> <p>現代的で、シンプルで、親しみやすく、多くの人々に長く愛される校章です。</p> <p>また、縮小、単色、白黒にも耐えられ、いろいろと多用途な使い方が出来ます。</p>			
(参考)白黒・縮小	<p>グレースケール</p> 	<p>縁取り</p> 		<p>縮小</p> 

※校章は白黒で使用する場合も多いため、グレースケール、縁取りを参考に掲載しています。これらは校章の使用場面（白黒の印刷物や校旗（刺繍）など）によって使い分けます。なお、応募者からの白黒版の提案があったものについては、「応募者提案」と記載しています。

校章 準備委員会審査

3				
デザイン				
説明	<p>行田市の花である古代蓮をモチーフにデザインしました。</p> <p>市章を中心に花びらが重なり合う様子は、児童・教職員・地域との結びつきを表し、中央の大きな花を新しい小学校の象徴として、2枚の葉が太田西小学校と太田東小学校を意味し、2つの学校の再編成により誕生する太田小学校の華々しいイメージをシンボリックに表現しました。</p> <p>蓮の花の校章で児童たちの門出に花を添えることができれば幸いです。</p>			
(参考)白黒・縮小	<p>グレースケール</p> 	<p>縁取り(応募者提案)</p> 		<p>縮小</p> 
学校運営部会の付帯意見	<p>このデザインを推す意見が複数あり、3次審査を通過することとしたが、「とげとげしい感じがする」という意見が複数の委員からあったため、付帯意見とし、準備委員会に諮ることになった。</p>			

※校章は白黒で使用する場合が多いため、グレースケール、縁取りを参考に掲載しています。これらは校章の使用場面（白黒の印刷物や校旗（刺繍）など）によって使い分けます。なお、応募者からの白黒版の提案があったものについては、「応募者提案」と記載していません。

校章 準備委員会審査

4				
デザイン				
説明	<p>統合の両校の校章に桜の花が用いられた桜の花びらを「お・お・た」の3文字に合わせて配したものに、統合の2校の数を、行田市の木「イチヨウ」の2枚の葉を重ね合わせて、仲良く、おおらかに（イチヨウの葉の末広がり）に恵まれた環境での学び舎で、子供たちの成長していく姿をイメージした校章に仕上げました。</p>			
(参考)白黒・縮小	<p>グレースケール</p> 	<p>縁取り</p> 		<p>縮小</p> 

※校章は白黒で使用する場合も多いため、グレースケール、縁取りを参考に掲載しています。これらは校章の使用場面（白黒の印刷物や校旗（刺繍）など）によって使い分けます。なお、応募者からの白黒版の提案があったものについては、「応募者提案」と記載しています。

校章 準備委員会審査

5				
デザイン	<p>これからたくさんの可能性をもって成長していく子供たちを行田市を代表する古代蓮(つぼみ)をイメージしてデザインしました。古代蓮はつぼみからきれいな花を咲かせるように子供たちも明るく・元気に成長してほしいという願いが込められています。いつまでも「蓮の子」たちを見守るシンボルとなってほしいです。</p>			
説明	<p>グレースケール</p> 	<p>縁取り(応募者提案)</p> 		<p>縮小</p> 
(参考)白黒・縮小				

※校章は白黒で使用する場合が多いため、グレースケール、縁取りを参考に掲載しています。これらは校章の使用場面（白黒の印刷物や校旗（刺繍）など）によって使い分けます。なお、応募者からの白黒版の提案があったものについては、「応募者提案」と記載しています。